

令和5年度 授業計画書（シラバス）

分野	専門分野			開講時期	2 年後期	
授業科目名	地域・在宅看護論 在宅療養を支える技術Ⅱ			単位数	1単位	
				時間数	15時間（7.5回）	
講師名	菅原みち子	所属	訪問看護 ステーションさくら	資格・免許	看護師免許	
		職名	看護師			
講師名	達増 美澄	所属	ラポール・テトラ サービス付き高齢者向け住宅・管理者	資格・免許	作業療法士免許 介護支援専門員	
		職名	作業療法士			
事前学習内容						
テキストの授業内容に関連する部分を学習しておく						
科目全体のねらい						
暮らしの場で行われる治療と看護を理解する						
教育目標との関連						
(3) 人間を、身体的・精神的・社会的・スピリチュアルに統合された存在として理解することができる。						
(4) 対象を、どのような健康状態であっても、社会で生活している人と捉えることができる。						
(5) 看護師としての責務を自覚し、高い倫理観をもって看護を実践することができる。						
(7) 社会の特性を理解し、保健・医療・福祉チームの中で、多職種と連携・協働し、対象が希望する地域で、その人らしく、より良く生きることを支援できる。						
科目目標						
暮らしの場で行われる治療と看護を理解する						
医療依存度の高い療養者の看護を理解する						
回	授業内容				講師	方法
1	暮らしの場で行われる治療と看護①褥瘡予防、褥瘡処置、疼痛緩和				菅原	講義・演習
2	暮らしの場で行われる治療と看護②栄養状態改善のケア、輸液・在宅中心静脈栄養法				菅原	講義・演習
3	暮らしの場で行われる治療と看護③膀胱留置カテーテル、ストーマ管理				菅原	講義・演習
4	暮らしの場で行われる治療と看護④在宅酸素療法、在宅人工呼吸療法・非侵襲的陽圧換気療法				菅原	講義・演習
5	暮らしの場で行われる治療と看護⑤訪問リハビリの定義、ICFの視点・活用				達増	講義
6	暮らしの場で行われる治療と看護⑥訪問リハビリテーションの実際				達増	講義
7	暮らしの場で行われる治療と看護⑦訪問リハビリテーションの実際				達増	演習
8(45分)	暮らしの場で行われる治療と看護⑧訪問リハビリテーションの実際				達増	演習
受講上の注意					評価方法 筆記試験 100点	
使用するテキスト						
系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論② 地域・在宅看護の実践（医学書院） 訪問リハビリテーション実践テキスト（青海社）						
参考文献						
写真でわかる訪問看護アドバンス（インターメディカ）						